

秋田県大館能代空港における横田基地所属ＣＶ－２２
の予防着陸について

令和７年７月２２日付広資料第６６号でお知らせしたこのことについて、横田基地に関する東京都と周辺市町連絡協議会は、下記のとおり口頭要請を行いましたので、お知らせします。

記

１ 要請日

令和７年７月２２日（月）

２ 要請先

在日米軍横田基地第３７４空輸航空団司令官
北関東防衛局長
横田防衛事務所長

３ 要請内容

令和７年７月１８日、防衛省北関東防衛局から、ＣＶ－２２オスプレイ１機が、秋田県大館能代空港へ１５時３０分頃に予防着陸したとの情報が、東京都及び基地周辺自治体に提供され、７月２２日には当該オスプレイが横田基地所属であること及び飛行中における警告灯の点灯が予防着陸の原因であることが明らかとなりました。

飛行中の機体のトラブル発生は、人命に関わる重大な事故につながりかねず、多くの住民に不安を与えるものです。また、基地周辺住民にとっては、オスプレイの安全性や運用への懸念が十分に解消されていない状況にあります。

貴職においては、このような状況を十分認識され、再発防止と安全

確保に努めるよう、次のとおり要請します。（※）

- 今回の警告灯点灯の原因究明を行い再発防止の徹底を図ること。
- 所属機の点検整備を強化し、安全確保の徹底を図ること。
- 以上に関する情報を関係自治体に速やかに提供すること。

※ 国に対しては、「貴職においては、このような状況を十分認識され、次のとおり米軍に申し入れを行うよう要請します。」と要請。